

夏季休業前全校集会（放送） 校長講話要旨 2020.07.31

全校生徒の皆さんへ、夏季休業前のリモート全校集会を行うにあたり、校長から校内放送でお話をします。

2020年も今日でちょうど7か月が経過します。今年のお正月は東京オリンピック・パラリンピックが開催されることへのわくわく感が満載だったのに、世の中がまさかこのような事態になってしまったとは、悔しく、残念で、悲しい思いが募っているでしょう。

1年生は、中学校生活の締めくくりが不完全なまま、高校入試と中学校の卒業式を終え、そして、入学式からわずか5日で臨時休業という、大変な高校生活の始まりでした。

2年生は、クラス替えで新しいスタートを切りましたが、行事が全て延期や変更となり、見学旅行までも来年3月まで移動するという不安な思いを抱えたままの生活が続いています。

そして、3年生にとっては、最後の大会やコンクールが中止になり、部活動の集大成にかけた思いがあっけなく消されてしまいました。さらに、経済の混乱が就職や進学にどこまで影響するのか、そうした不安の中で進路決定の本番を迎えます。

砂川高校の先生と職員は、君たちのそうした思いに寄り添って、何とか不安を取り除く方法を考え、大量の情報を整理し、感染拡大を防ぐ対策を必死になってやってきました。神経をすり減らす毎日のなか、一番つらいのは生徒たちだと思います、疲れた表情を気づかれないように、今日まで頑張ってきました。ただ、一番身近にいた君たちは、きっと気がついていただでしょうね。それでも、夏休み中にも、不安な思いに心が負けそうになったら、ひとりで抱え込まず、先生や身近な人に連絡をし、どうか相談をしてください。

さて、私たちはこのコロナ禍のなかで、物ごとをポジティブつまり前向きに考えることを学び始めました。うまくいかないと嘆いてばかりでは前に進む力が湧いてきません。何事も前向きに考えてみることに挑戦です。例えば、今年の夏

休みは5日も削られてたった17日間しかない、と考えるのではなく、学校に5日間通ったことで、その分効果的な学習ができたと見直してみる。もし家で同じ5日間を過ごしたら、ここまで気持ちの入った勉強ができたかな、と。

17日しかないと不満を感じるよりも、まだ17日もあると前向きに考えてみましょう。毎朝目覚めたとき、「今日も夏休みだ」と17回も連続で感じられる喜びを楽しんだ方が、おのずと1日の過ごし方が変わってくるものです。気持ちもみなぎってくるでしょう。

さあ、明日から夏休みです。私が毎朝目覚める時間は、ほとんどの砂高生より早いと思っています。一足先に1日の始まりを楽しみながら、私は君たちの今日1日がさわやかに目覚められるよう、17日間続けて祈ってみましょう。

そして、8月18日の朝、変わらぬ笑顔でお会いできることを期待し、校長からの放送を終わります。